

(広報資料)



令和5年9月7日
京都市交通局

〔担当：企画総務部営業推進課〕
TEL：075-863-5065〕

「京まふ2023」 “地下鉄に乗るっ”グッズの販売について

京都市交通局では、令和5年9月16日（土）及び17日（日）に開催される「京都国際マンガ・アニメフェア2023（略称：京まふ2023）」にて、“地下鉄に乗るっ”グッズを販売しますので、下記のとおりお知らせします。

本年11月に地下鉄利用促進プロジェクト“地下鉄に乗るっ”が10周年を迎えることを記念し、今回初めて“地下鉄に乗るっ”ブースとして出展し、“地下鉄に乗るっ”グッズを製作された（株）魚雷映蔵及び（株）ミングアップ等と共同販売を行います。京都市広報キャラクター「京乃つかさ」をはじめとしたコラボキャラクターのグッズもブースに取り揃えています。

さらには、10周年を祝したステージも開催しますのでお楽しみにっ♪
是非、市バス・地下鉄に乗って「京まふ2023」にお越しください。

記

1 “地下鉄に乗るっ”グッズの販売

(1) 販売日時及び販売場所

ア 販売日時

令和5年9月16日（土） 午前9時～午後5時
9月17日（日） 午前9時～午後4時

イ 販売場所

「京まふ2023」みやこめっせ会場1階“地下鉄に乗るっ”ブース
※ 両日とも売り切れ次第、グッズ販売を終了します。

(2) 商品概要 ※ 商品の画像はイメージです。

ア 「地下鉄に乗るっ」×「駅メモ！」シリーズ
コラボクリアファイル&地下鉄1日券セット

新作

(ア) 販売価格

1,500円（税込）

(イ) 販売数量

300セット

※ 販売はお一人様5セットまでとさせていただきます。



- イ ブロマイドセット（6枚組）（販売価格：500円）
- ウ A4クリアファイル「コトチカ」（販売価格：600円）
- エ A4クリアファイル「男子」（販売価格：400円）
- オ キャンバスアート（販売価格：3,000円）
- カ 色紙（販売価格：1,500円）
- キ マスクケース（販売価格：500円）
- ク 今治タオル（販売価格：1,500円）

※ 全て税込み価格です。

※ エ〜クには、ノベルティが付きます。どんなノベルティが付いてくるかはお楽しみにっ♪

2 “地下鉄に乗るっ” 10周年スペシャルトーク&LIVE

地下鉄利用促進プロジェクト“地下鉄に乗るっ”が本年11月で10周年を迎えることを記念して、これまでの10年の歩みを振り返るとともに、過去に制作したアニメCM等の主題歌を歌うシンガーソングライターの大木ハルミ氏によるスペシャルLIVEをお届けします。

(1) 日時

令和5年9月16日（土）午前11時10分～午前11時50分

(2) 場所

「京まふ2023」みやこめっせ会場B1階 みやこめっせステージ

(3) 出演者

大木ハルミ、佐野リョウタ（(株) 魚雷映蔵）、Iqu（いく）（司会）

※ ステージ後方席は、当日観覧枠が設けられる予定です。

（ステージ前方は事前抽選制。事前応募終了。）

詳しくは、京まふ公式ホームページを御覧ください。

<https://kyomaf.kyoto/>

3 共同販売

「1 “地下鉄に乗るっ”グッズの販売」に記載の交通局オリジナルグッズのほか、(株) 魚雷映蔵、(株) ミングアップ及び大木ハルミ氏も同ブースで商品を販売します。

販売商品の詳細については、後日 X（旧 Twitter）で発表しますので、以下のアカウントから御確認ください。

- ・ (株) 魚雷映蔵：@gyorai_
- ・ (株) ミングアップ：@MINGUPkyoto
- ・ 大木ハルミ氏：@0308harumi

(参考) 地下鉄利用促進プロジェクト「地下鉄に乗るっ」について

「地下鉄に乗るっ」を合言葉に、地下鉄・市バス応援キャラクター「太秦萌」、「松賀咲」、「小野ミサ」の仲良しの幼なじみ 3 人と、萌の姉「太秦麗」、ミサの兄「小野陵」、「十条タケル」らが、京都市営地下鉄を PR するコンテンツ。



平成 22 年に設置された京都市の「若手職員増客チーム」が考案した PR キャラクターの萌、咲、ミサの 3 人で活動を始める。

平成 25 年に地下鉄利用促進ポスターに萌たちを採用するにあたり、総合デザインオフィス・株式会社 GK 京都とイラストレーター・賀茂川氏の手によって、キャラクターデザインをリファイン。以降、地下鉄利用促進プロジェクト「地下鉄に乗るっ」として、様々な広報媒体に展開している。

さらには、京都市や商業施設とコラボレーションし、京都国際マンガミュージアム「烏丸ミユ」、ジェイアール京都伊勢丹「伊勢京香」、大丸京都店「四条みやび」、京都市消防局「北山駆」、「二条葵」、京都市広報担当「京乃つかさ」が誕生し、「地下鉄に乗るっ」のコンテンツの世界を広げている。